

○議長（古畑浩一君）

以上で、保坂議員の質問が終わりました。

次に、和泉克彦議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

和泉議員。〔8番 和泉克彦君登壇〕

○8番（和泉克彦君）

幸福実現党の和泉克彦でございます。

市議2期目として最初の一般質問になりますが、初心に立ち戻り、さらなる研さんを重ね、誠心誠意、市議としての使命を全うしてまいる所存でございます。

糸魚川市民の皆様方が、この糸魚川に生まれ、住み、そしてこの時代に生まれてよかったと心の底から喜べるような真の幸福が実現できますように、心に寄り添い、市民の皆様のお声を市政に反映させていきたいと考えております。

それでは、発言通告書に基づきまして、1回目の質問をいたします。

1、久保田市長が目指す「市民と共に未来を開く」まちづくりとそれに係る「縮充」について。

久保田市長は、「市民と共に未来を開く」まちづくりを目指すとされており、そして、市民の声に耳を傾け、共に考え、共に行動していく「市民参加型のまちづくり」を掲げておられます。これらと併せて「縮充」という考え方も示されておられます。

そこで、以下、伺います。

(1) 市長は、「市民の声に耳を傾け、共に考え、共に行動していく」とのことですが、このような機会を設けるために、どのようなことを想定されているのか、伺います。

(2) 市長は、これからの社会には、「縮充」という考え方が必要であるとのことですが、市長の言葉としては、「縮小」する現実を悲観せず、縮小する中で「充実」を大切にするというお考えですが、市長が、現時点でお考えになる「縮充」とは、具体的にはどのようなものなのか、伺います。

(3) 市長は、糸魚川の持つ豊かな自然、歴史、文化、ここに暮らす全ての方の力を生かしたまちづくりをお考えですが、糸魚川地域、能生地域、青海地域、それぞれの地域の特出すべき具体的なものを上げるとすればどのようなものなのでしょうか、伺います。

2、マイナ保険証に係る現状と課題について。

紙の健康保険証の新規発行停止から半年がたちました。デジタル化の流れの中で主流となるはずのマイナ保険証の利用率の低迷や医療機関での何らかのトラブルが報道されています。そのような状況で、マイナ保険証を持っていない方への資格確認書の発送交付が来月末までに完了し、本人の手元に万が一届かなければ、マイナンバーカードの有効期限切れの問題と合わせて、マイナ保険証に係る混乱を招くことになりかねないということが懸念されます。

そこで、以下、伺います。

(1) マイナンバーカード、それとひもづけになっているマイナ保険証のそれぞれの取得率と利用率について伺います。

(2) マイナ保険証に係るトラブルが全国的に起こり、そのことがマスコミなどから報道されて

いますが、当市における現状や課題として、もしトラブル等があるとすれば、それについてどのように対応しているのか、伺います。

(3) マイナ保険証を持っていない方へは、資格確認書が交付される予定ですが、当市においても交付に向けた業務が適切に行われているのか、進捗状況を伺います。

(4) 本年4月、厚生労働省は、全ての75歳以上の後期高齢者と65歳以上75歳未満の方で、一定の障害があると後期高齢者医療広域連合から認定を受けた方に対して、令和8年7月末までの間における暫定的な運用として、マイナ保険証の保有状況にかかわらず、資格確認書が無償で申請によらず交付すると発表していますが、当市においても同様の対応がなされるのか、伺います。

3、J R大糸線の存続に係る現状と課題について。

糸魚川駅で北陸新幹線から乗り換えて、J R大糸線沿線を訪れる方々の姿、特に、外国人客の姿をこれまで以上に見る機会が増えてきています。

そこで、以下、伺います。

(1) 大糸線の利用客は、コロナ禍を脱してから増加傾向にあるのか、伺います。

(2) 昨年度からは、北陸新幹線と大糸線との接続状況を鑑み、利用客増加への取組として、大糸線増便バスの運行がなされています。この取組についてどのように分析しているのか、伺います。

(3) 今や3,000名を超える大糸線応援隊の現状と課題、これらを踏まえて今後どのような方向性を考えているのか、伺います。

(4) 生活路線としては厳しい状況にある大糸線であると思います。これまでは、沿線の魅力を発信しての取組や鉄道ファンを中心としたイベント的な取組がなされてきましたが、大糸線の現状を鑑みて、観光路線としての位置づけを明確にすべきであると思いますが、いかがお考えでしょうか、伺います。

以上で、1回目の質問を終わります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

久保田市長。〔市長 久保田郁夫君登壇〕

○市長（久保田郁夫君）

和泉議員の質問にお答えいたします。

1番目の1点目につきましては、今年度、秋以降に各地区へ出向き、市民の皆様と懇談する予定としております。

また、年代、性別や業種を超えた様々な団体、組織との交流や意見交換の場を設けたいと考えており、今後、地区懇談会と併せて開催方法を検討してまいります。

2点目につきましては、人口減少・少子高齢化による縮小という現実をしっかりと受け止める中で、既存の事業の評価を行い、市民生活に必要な事業については充実を図る必要があると考えております。

3点目につきましては、糸魚川地域では、宿場町の拠点としての歴史文化、ヒスイや糸魚川真柏などの特産品、能生地域では、相撲をはじめとして、マリンドリーム能生、ベニズワイガニを中心

とした食や観光、青海地域では、天下の陰・親不知や市振の関といった歴史文化などが上げられます。

このほかにも各地域には様々な資源があふれており、これらを生かし、交流人口から関係人口へ発展させたいと考えております。

2番目の1点目につきましては、7年3月末現在、当市のマイナンバーカード取得率は、約81%であります。

マイナンバーカードとひもづけされている国民健康保険加入者は約76%、後期高齢者医療保険加入者は約71%であり、そのうちマイナ保険証の利用率は国民健康保険では約46%、後期高齢者医療保険では約35%となっております。

2点目につきましては、報道されているようなトラブルの報告はありません。

医療機関においては、マイナンバーカードの電子証明書の有効期限切れにより、読み取りができない場合があるとお聞きしており、引き続き、更新手続きを呼びかけてまいります。

3点目につきましては、対象者の方へ確実にお届けできるよう、準備を進めております。

4点目につきましては、厚生労働省の通知に基づき、後期高齢者医療保険加入者全員に資格確認書を送付することとしております。

3番目の1点目につきましては、コロナ禍以降、年々、増加している状況であります。

2点目につきましては、目標は達成できませんでしたが、白馬までの直通運転による効果は示せたものと考えております。

3点目につきましては、大糸線応援隊の皆様からは、SNS等による情報発信やイベントなどを通じて大糸線の利用促進に貢献していただいております。

沿線自治体による利用促進の取組と応援隊や鉄道ファンの皆様の取組など、広がりを持った利用促進により、成果とともに、世論の醸成につなげたいと考えております。

4点目につきましては、引き続き、生活や観光路線としての位置づけで取組を進めてまいります。

以上、ご質問にお答えいたしました。再度のご質問によりましては所管の部・課長からの答弁もありますので、よろしくお願いいたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

和泉議員。

○8番（和泉克彦君）

まず、順番どおりに質問、再質問をさせていただきます。

最初のところで、どのように市民の方と関わりを持っていくかということですが、直接、秋以降、地域等に入られて懇談の機会をお持ちになるということですが、当選以後、私も地域回らせてもらったりしますが、やはり久保田市長への期待感の高まりを感じていて、直接お話ししたいという方も何人もいらっしゃいますので、スケジュール的にタイトな部分はあるかと思いますが、ぜひ市民の皆様のところに足を運んでいただきたいというふうに思います。

2つ目ですが、縮充についてです。縮小する、人口減少等でだんだん、だんだん規模が小さくなっていくというのは分かるんですけど、縮小というと、どうしても何か尻すぼみになってしまっていて、あまりいいイメージがないと思うんですが。

ただ、糸魚川市においては、事務事業評価、特に今の段階では、第3次糸魚川市総合計画に基づいて事業評価をされているかと思います。総務省からも、政策評価に関する標準的ガイドラインというのが示されていて、評価の基準としては、必要性とか効率性、あと有効性、公平性、優先性ということが上げられていまして、当市においても、そのガイドラインにのっとった形で評価を行っているのかどうかということと、また、その評価の妥当性について、逐次検討を行っているのかどうかお聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

大西企画定住課長。〔企画定住課長 大西 学君登壇〕

○企画定住課長（大西 学君）

お答えいたします。

事務事業評価におきましては、20年以上前に国からガイドラインのほうが示されております。各自治体におきましては、ガイドラインに沿った形で評価が続けられていると思っておりますし、当市におきましても、同様に策定し、運用しております。

概要は、成果指標を定量化し、実績と比較することで評価を行い、次年度の予算に反映するよう取り組んでおります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

和泉議員。

○8番（和泉克彦君）

事業評価、かなり前から、20年以上前からされているということですが、ここ最近、市のホームページをのぞいてみますと、ちょっと様式が変わったというか、さま変わりしてしまいましたが、ちょっと事業評価を探してみたんですが、ホームページに載っていないんですね。その状況というか、それもしお分かりでしたら教えてください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

大西企画定住課長。〔企画定住課長 大西 学君登壇〕

○企画定住課長（大西 学君）

お答えいたします。

ガイドラインは、可能な限り公表すべきとありますが、ご指摘のとおり、現在、当市のホームページには、事務事業評価のほうは記載されておられません。以前は、公式ホームページに事務事業評価を取りまとめたものを公表しておりましたが、この春の市の公式ホームページの更新時に、掲載すべき部分の作成が抜け落ちておりました。早急に作成し、掲載するよう努めてまいります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

和泉議員。

○8番（和泉克彦君）

事業評価については、公開するという事にもなってますし、外部からの評価をする方を入れる

という、そういうガイドラインも示されてるんですけど、そこは、また別の機会に譲りたいと思います。

もう一回、縮充というところに戻りますが、そういうことで、この事務事業評価の結果を受けて、成果や効果が少ない事業について、単に縮小ということになると、それを一律に糸魚川市内全地域でされてしまうと、やはり特に中山間地域とか周辺地域の方は、驚きとか戸惑いでしかないと思うんですよね。ですから、先ほど市長答弁にもありましたけども、地域に足を運んでということで、やはり向き合って対話をしていただく中で、成果や効果が少なくても、その地域の方々にとってなくてはならないものであるというような判断をなされて、継続するものは継続、やめてしまうというか中止するものは中止ということで、判断の材料にしていただければというふうに思いますが、それについては、お考えいかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

久保田市長。〔市長 久保田郁夫君登壇〕

○市長（久保田郁夫君）

お答えします。

非常に貴重な意見だと思っております。現に今、私のほうに申入れをしまして、私のできる限り、来庁していただいて、話を聞く機会を適宜設けております。昨日も、ある地域の団体の方からもお話を伺いました。その際に、今ご懸念されている、常に縮小という部分から始めるんじゃないかという部分のご指摘いただきましたけども、そうじゃなくて、10から始めて、必然的に縮まってしまふものが確実にあるものについて、どうやったら充実させればいいのかという部分で、意見交換をさせていただきましたので、できる限りその意見交換の中でご期待に沿える部分と、まさに地元の人たちから、きちんとこれについてはもう妥協しなきゃならないという部分の聞き取りをしながらという部分で対話をしていきたいと思っておりますので、その部分は、逆に言うと議員の皆様からいろんな情報提供いただければ、それに輪をかけて対応できるんじゃないかと思っております。よろしく申し上げます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

和泉議員。

○8番（和泉克彦君）

地域のそれぞれの状況を、実態を把握していただくということになります。事例を挙げますと、この春、糸魚川バスさんが、運転手、人員不足のために減便せざるを得ない状況になりました。そうすると、特に高齢者の方の買物や医療機関への足が確保されないということと、あとやっぱり病院に行っても帰る時間帯、1本逃してしまうと1時間、2時間待たなきゃいけないという、そういうお声を聞いていますので、またそういうことにも、当然、都市政策のほうで公共交通の協議会ありますので、またそういうところでも、また声を聞いていただいて、お願いしたいというふうに思います。

次に、糸魚川、能生、青海の3地域の特筆すべき特徴というか、それについて、移りたいと思います。

それぞれの特徴を生かして活性化を図るということですが、どうしても私としては、交通関係にどうしても先に目がいってしまうんですね。やはり最寄り駅からいろんな施設に向かうにしても、なかなか二次交通が充実していないというのが現状です。

ただ、この糸魚川地域中心部は、まあいいとしても、能生駅からマリンドリーム行くとか、それとか青海地域であると親不知、市振、特に市振で、全国からおいでになる方とコミュニケーション取ったりする機会ありますけど、やっぱり口々に、特に親不知、市振を観光したいんだけど、足がないよねという、そういう嘆きの言葉を異口同音に聞くということがあるんですね。ですから、地域を活性化する中でも、運転手不足等の問題たくさんありますが、二次交通についてはどのようにお考えなのか、お聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

内山都市政策課長。〔都市政策課長 内山俊洋君登壇〕

○都市政策課長（内山俊洋君）

お答えいたします。

二次交通につきましては、議員おっしゃられるとおり、当市の観光の大きな課題だというふうに捉えております。拠点の駅から、やはり距離があるといったところが多いというところがございます。ここをどうカバーしていくのかというのは、非常に大きな課題だというふうに捉えております。親不知・市振方面につきましても、駅からやはり距離があると言ったところ、それぞれの観光コンテンツによって、お客様のニーズが変わってくるかと思っております。そういったものを把握しながら、その観光コンテンツに合う二次交通というものを模索していきたいと、検討していきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

和泉議員。

○8番（和泉克彦君）

1番目の市長が掲げる目指すまちづくりについては、これで終わりたいと思います。

次に、2のマイナ保険証に係る現状と課題についてです。

マイナ保険証のトラブルは、全国的に多岐にわたっていて、有効期限切れが顕著で、今年度には、全国では2,760万件ぐらいのマイナナンバーカードの電子証明書の更新が必要となるために、その更新に関わるトラブルが増加されるのではないかという、そういう懸念が持たれています。同様に、当市においても十分な注意が必要だとは思いますが、当市においてはどのような状況になっていますでしょうか、伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

小竹市民課長。〔市民課長 小竹貴志君登壇〕

○市民課長（小竹貴志君）

お答えいたします。

電子証明書の有効期限切れを防ぐため、国の機関から3か月ほど前に案内文書が発送される仕組

みとなっております。案内が届きましたら、速やかに更新手続を取っていただきたいと思いますと考えております。

市では、手続場所を拡充するため、更新手続を郵便局で行えるよう準備を進めております。手続場所が増えることで、市民の利便性の向上と市役所の窓口の混雑の緩和が図られ、トラブルの防止にもつながるものと考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

和泉議員。

○8番（和泉克彦君）

今年度予算審査のときにも、郵便局でのそういう手続の予算が計上されていたかと思いますが、郵便局は、地域至るところにあるので、高齢者の方も歩いていかれることもできるかなというふうに思いますので、これマイナンバーカードの期限切れは非常に大きな問題になりますから、仮に切れて、もう一回更新しようとする、またかなりの再交付というか、そういうのに時間がかかりますので、ケアのほどをしっかりとお願いしたいと思います。

そのほかに、カードリーダーの不具合とか、住所や名前が文字化けしてしまうとか、高齢者のITリテラシー、あと、これはどうしようもないですけどシステム障害がトラブルとして上げられてるんですけど、当市においては、そのような情報とか報告はなされているのでしょうか、伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

林健康増進課長。〔健康増進課長 林 壮一君登壇〕

○健康増進課長（林 壮一君）

お答えいたします。

先ほど市長答弁にもございましたが、カードリーダーの有効期限切れによるエラー、読み取り不能のエラーですね、そういったものもございますし、氏名等の文字化け等の報告もなされておりますが、それ以外については、特にご報告いただいている案件はございません。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

和泉議員。

○8番（和泉克彦君）

今、林課長のほうから、カードリーダーの読み取りエラーとか文字化けの情報ということでしたが、それに対して、行政としての対応はどのようにされているのか伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

林健康増進課長。〔健康増進課長 林 壮一君登壇〕

○健康増進課長（林 壮一君）

お答えいたします。

まず、有効期限切れのものにつきましては、実際かざしたときにそのような表示が出るんですけども、有効期限の、電子署名の有効期限を延ばすことに関しては、先ほどもお話ありましたが、市民課の窓口のほうで手続を行っていただくようにご案内をさせていただいております。

文字化けの案件につきましては、実際、マイナンバーカード、マイナ保険証には正しく表記がされています。文字化けになる事例というのは、氏名等で旧漢字をお使いになっている方が、正しくカードリーダーのほうに出てこない、黒丸で表示されてしまうというような事例でございまして、そのような方については、マイナンバーカード、マイナ保険証を見れば正しいものが表記されていますので、そこで確認ができるということで、特に問題にはなっていないということでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

和泉議員。

○8番（和泉克彦君）

行政のほうに上がってくるものは、多分、数は少ないと思いますね。実際、マイナ保険証を使う医療機関で解決されているかというふうに思います。

以前もいろんな場面で、マイナ保険証をカードリーダーで読み込むときに、特に高齢者の方が戸惑っていると長蛇の列ができて、その列の中でのある人が、何やってんだよみたいな、そういう言葉での圧力とか、そういう場面に居合わせた市民の方から、糸魚川市内の医療機関のカードリーダーは、一律同じようにしてもらえんかいねというようなことを言われたこともあります。でも、もう導入してしまったものを、それは医療機関の負担になると思いますから、一律にしましょうとは言えないと思うんですが、もしね、そういう何ていうか、高齢者の方も困っておられると思うので、そういう現状もまた情報仕入れていただきたいというふうに思います。

結局、デジタル化の流れの中で、便利ではあるんだけど、結局は弱点といいますか、そういうような読み取りエラーとか文字化けとかというのが起きます。結局そういうようなトラブルの解決方法としてどのようなことをやってるかという、結局は、従来の健康保険証で資格確認を行うということがほとんどだというふうに聞いているんですよ。ですから、そのマイナ保険証が交付されると、資格確認のお知らせというのが一緒についてきますけど、その存在を知らない方が、市民の方に結構いらっしゃいます。特に高齢者も、おら、そんなもん知らんよというような、そういう声を聞くんですけど、当市としては、そういうことに対してどういうふうな対応をされているかお聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

林健康増進課長。〔健康増進課長 林 壮一君登壇〕

○健康増進課長（林 壮一君）

お答えいたします。

一般的には、議員おっしゃるとおり、マイナ保険証を持ちの方には、資格情報のお知らせが届いているという状況でございますが、特別に後期高齢者医療の保険に加入の方については、今現在、資格情報のお知らせというのは出ておりませんで、皆さん、保険証または資格確認書をお持ちだと思っています。その両方を併せ持つことで、そういった非常時にも十分に対応できるものというふ

うに思っておりまして、その辺をしっかりとお知らせしていくことが大事だというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

和泉議員。

○8番（和泉克彦君）

今、答弁ありましたように、結局2枚持ちというか、2枚、3枚持ち。この春導入されましたマイナ運転免許証ですかね、これも単体のものと、あと2枚持つとかというような、そういうシステムがあるんですけど、結局、政府は多額の税金を投入したけれども、結局トラブルがあると、アナログ的な部分に最終的には頼らざるを得ないと。じゃ、どうしてもそんな多額の税金を使うことになるのかという検証が、やっぱり必要ではないかと。地方自治体とか各自治体においても、そういうようなことをやっぱり国に声を届けるとかというような努力、姿勢というか、そういうのが必要だと思いますので、本当にデジタル化はね、便利だとは思いますが、いざトラブルが起きたら、そういうような弊害があるということをやはり逐一情報をつかんでいただければというふうに思います。

次に、資格確認書の交付・発送について、先ほど答弁ありましたけど、来月末で、紙の健康保険証が有効期限切れますよね。トラブルがないようにお願いしたいのは、これはもう山々ですが、ただ、自治体によっては、昨年の9月、僕、一般質問で、岩手県では33の自治体の4自治体ですけど、全員に配るという動きを紹介させてもらったんですよ。

ところが、この4月に入って、東京都の世田谷区と渋谷区、そこでもマイナ保険証の有無にかかわらず、国民健康保険加入者全員に資格確認書を交付するというニュースが流れてるんですよ。やはり発送時のトラブルを避けるためにも、全員に配ったほうがいいというふうに以前、提言させてもらったんですけど、本当は、厚労省はそういう指導をしてなくて、法律違反になるのかどうか分からないですけど、そういうような動きがあるんですが、糸魚川市においては、先ほど答弁にもちょっとあったと思うんですが、いま一度、どのように対応されるのかお聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

林健康増進課長。〔健康増進課長 林 壮一君登壇〕

○健康増進課長（林 壮一君）

お答えいたします。

先ほども少し申し上げましたが、後期高齢者医療保険にご加入の皆様には、全員の方に資格確認書を4月中にお送りいたします。

国民健康保険加入の方につきましては、法的な規定がございますことから、全加入者への発送というのは考えておりませんで、行わないこととしております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

和泉議員。

○8番（和泉克彦君）

ということになれば、厚労省の指導にのっとっていない自治体が、今後どうなるのかというのはちょっと動きを見なきゃいけないことになるとと思いますが、糸魚川市はそういう対応をしないということですね。

後は、郵便として多分発送されると思うんですけど、このたびちょっと残念ですが、日本郵便で不適切点呼の問題が発覚して、郵便事業にちょっと支障を来すというような、そういうことが報道されていますけれど、資格確認書の発送・送付について、問題は、支障はないもののでしょうか、お聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

林健康増進課長。〔健康増進課長 林 壮一君登壇〕

○健康増進課長（林 壮一君）

お答えいたします。

来月7月には、私ども市民部の中で、市民課の納税通知ですとか私どもの資格確認書、あと福祉事務所のほうの関係の介護保険料の関係、併せて5万通程度の郵便物が発送予定になっております。そんなところから、郵便局とも事前に打合せをして、7月中にしっかりと全家庭へお届けしていただくよう打合せをしているところでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

和泉議員。

○8番（和泉克彦君）

資格確認書が届かないと無保険状態になりますので、医療機関を受けると、どんな状況であってても全額支払い、後で手続で戻ってくるという手間暇がかかりますので、ぜひそのところをお願いしたいと思います。

次に、3番目の大糸線についてです。

年々、コロナ禍以降、利用客数が増えているということですが、この点について数字、具体的な数字があれば、教えてください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

内山都市政策課長。〔都市政策課長 内山俊洋君登壇〕

○都市政策課長（内山俊洋君）

お答えいたします。

JR西日本が、毎年、糸魚川―南小谷駅間における輸送密度を発表しております。これによりますと、令和2年、コロナ禍でございますけれども、50人に下がったところがございますけれども、令和5年には110人という増加傾向になっております。また、令和6年につきましては、会議の中、まだ正式な発表はこれからになりますけれども、JRのほうからは、前年比1.3倍から1.4倍という数字はお聞きしております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

和泉議員。

○8番（和泉克彦君）

年々増加傾向にある大糸線ですけれども、昨年度は、大糸線と北陸新幹線の接続状況を鑑みて、大糸線増便バスが運行されました。当初の利用目標は3万人、新聞報道によると、実際には2万3,317人の利用ということで、利用率77.7%。7が3つ並ぶんでラッキーナンバーですけど、目標までにはまだ及んでいないということですが、これはやはり南小谷乗換えではなくて、白馬まで直通運行をした結果ということで理解してよろしいでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

内山都市政策課長。〔都市政策課長 内山俊洋君登壇〕

○都市政策課長（内山俊洋君）

市長答弁でもお答えさせていただきましたけども、白馬までの直通運転を私どもは求めておりまして、それによる効果だというふうに捉えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

和泉議員。

○8番（和泉克彦君）

ということは、増便バスでの直接運行で効果を示せたということになると、バスのほうがいいんじゃないかということ、そういうふうに捉えられるかとは思われますが、それについていかがお考えでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

内山都市政策課長。〔都市政策課長 内山俊洋君登壇〕

○都市政策課長（内山俊洋君）

鉄道では、糸魚川駅から南小谷駅までの間になってしまいます。これを鉄路で白馬まで直接乗り入れることができないかということは、ずっと糸魚川市のほうからもJRに対して要望をしてきました。

そういった中で、JRのほうでは、擦れ違い施設がないとか、そういったことで、なかなか増便をすることは難しいという回答の中で、今回バスによる増便というところで着手したものでございます。私どもの主張は、基本的には変わっておりませんので、バスによる直通運転で確実にニーズが増えたといったところ、これは、鉄路における白馬までの相互乗入れの運転でも同じことが言えるかと思しますので、ここについては、バスによって、その効果が示せたというところはあろうかというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

和泉議員。

○8番（和泉克彦君）

あくまでも鉄路でということを確認させていただきました。やはりバスの輸送になると、北海道

がいい例ですが、やっぱり乗客数が少ない、バス路線に変換する、昨今の運転手不足等で、結局は減便、廃止になるという、そういう憂き目が、もう絵図として出来上がっているので、ぜひ大糸線存続のためにも、鉄道でつなぐということを根気強くお願いしたいというふうに思います。

次に、私も大糸線応援隊の一人なんですけど、なかなか情報が入ってこなかったりするんですけど、そういう応援隊同士の情報共有の機会というのはどれぐらいあるのか、もしお分かりでしたら教えてください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

内山都市政策課長。〔都市政策課長 内山俊洋君登壇〕

○都市政策課長（内山俊洋君）

応援隊の情報交換の場というご質問でございますけども、これまでに大糸線応援隊のファンミーティングというものを2回開催しております。ここで培われましたネットワーク、情報交換のSNSなどを通じた情報交換ですね、こういったネットワークによりまして、昨年の11月、隊員の皆様によるイベントを開催していただいたという事例もございます。それぞれ隊員相互につながって情報交換をする中で、大糸線を盛り上げるために活動していただいているといった現状かというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

和泉議員。

○8番（和泉克彦君）

応援隊とか鉄道ファンの方が盛り上げてくださるのは分かってるんですけど、問題は、やはり沿線住民の方々とか糸魚川市民の方々が、参加するとか情報発信をしていただくと、さらに盛り上がると思うんですけど、その点についてはいかがお考えでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

内山都市政策課長。〔都市政策課長 内山俊洋君登壇〕

○都市政策課長（内山俊洋君）

沿線の皆様に対しましては、昨年度、私どものほうの活性化協議会のほうでやっておりますイベント助成というものをやっております。これは各地区ですとかグループ、団体単位で大糸線を使って小旅行ですとかレクリエーションみたいな形で出かけていただいたときに助成をさせていただいている制度なんですけども、昨年度は区長会にお邪魔して、各地区の区長会で増便バス運行しておりますということで、ぜひお出かけくださいというご案内をさせていただきました。そうしたところ、各区の行事として、大糸線の旅を楽しんでいただいたという事例が幾つかございます。今年度につきましては、増便バス、観光地にダイレクトに行く運行ルートになっておりますので、さらに使いやすくなっているというふうに感じております。本年度も周知に努めて、利用促進につながるように取り組んでまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

和泉議員。

○8番（和泉克彦君）

行政のほうでも、例えばえちごトキめき鉄道沿線の住民の方にお手振りといって、ただ、列車通るんですけど、乗ってる方に手を振るといような、そういうのを行政のほうからコマーシャルをするようなことがありましたけど。えちごトキめき鉄道の雪月花が、大糸線に乗り入れたときにも、それをコマーシャルすると、糸魚川駅はもちろんですけど、根知駅とか、なぜか市振駅折り返したんですけど、市振駅とか、もう当然、終点の南小谷駅ではお出迎えの人がちゃんと横断幕を持ったりしてといような、そういう行動が見られますので、まずは行政がそういうような活動を醸成するべくような働きかけをして、後は民力というか、民間の力に任せて盛り上げてもらうといような、そういうチャートづくりといような、そういうのをしていただくと、行政が全部丸抱えではなくていいかなと。行政の負担も少なくなると思いますので、そういうような形でお願いしたいといふふうに思います。

次に、大糸線の情報発信として、糸魚川にはキハ52とC12蒸気機関車があるんですけど、キハ52は活躍してますが、C12はご存じのとおり、糸魚川小学校校地内に雨ざらしで置いてありますよね。これがやはり寄る年波といつか年々老朽化が進んで、車体の一部、あちこち、ぼろぼろ、ぼろぼろ金属片が落ちてきてる状況なんですよ。特に去年の能登半島地震のときに周辺住民の方から、これまたああいうようなでっかい地震があったら、こういう蒸気機関車、大丈夫なもんかねといようなお声をお聞きました。

保存のためには莫大な費用がかかるのは重々承知で、想像に難くないことなんですけど、やはり安全面とかそういうことも考えると、やはり市の持ち物になってるかと思うんですけど、今後どのように対応されていくのか、もしお考えがありましたら、お聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

長崎建設課長。〔建設課長 長崎英昭君登壇〕

○建設課長（長崎英昭君）

お答えいたします。

今ほど議員ご指摘のとおり、糸魚川小学校にありますC12SLパークに設置してあります蒸気機関車につきましては、車体の傷みが出てきているということで、私どもも確認のほうをしてる状況でございます。今後につきましては、やはり修繕工事とか、あと維持管理費用がかかることを考慮いたしまして、庁内でも、このC12蒸気機関車の在り方とか、あと修繕方法等の検討を進めてまいります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

和泉議員。

○8番（和泉克彦君）

ぜひお願いします。今朝も、僕、議場に向かってくるときに、C12の前で松本ナンバーの車が止まって写真撮ってたりといような、そういう光景も見ますので、全然人が訪れない場所ではないといことですから、特に訪れたときに、もし倒壊の危険性をはらんでいるものだとすると、また大き

な問題になりますので、ケアのほうをお願いしたいと思います。

次に、大糸線の生活路線と観光路線という、そういう観点でちょっと質問させていただきたいんですけど、質問では、もうこの際、観光路線というふうに位置づけたほうがいいんじゃないかというふうなふうに私は思います。朝・晩は、生活路線としてしっかり役割を果たしてもらって、日中は、観光路線としてというふうに思います。これまでいろいろ観光路線の視点というのはあると思うんですけど、結構、今まではアクセス路線としての役割が多かったですよね。南小谷まで特急あずさが来てる、その接続する糸魚川発の列車は、乗車率がいいというような。でも、残念ながらこの3月のダイヤ改正で、南小谷まで来てたのが、白馬止まりになってしまったんですね。

先日の大糸線活性化協議会でも、小谷村の中村村長は、もう一度、南小谷まで特急あずさをというふうに声高におっしゃっていました。でも一度断たれた線路というのを復活するというのは、非常に難しいことだとは思うんですけど、この際、そういう観点で、観光路線として、日中は、「ゆっくり行こうぜ大糸線」なんていうようなキャッチフレーズで、とろとろと南小谷まで行くような、そういうような路線に転換、これ難しいかもしれないんですけど、1つの提案として上げたいと思いますが、それについていかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

内山都市政策課長。〔都市政策課長 内山俊洋君登壇〕

○都市政策課長（内山俊洋君）

お答えいたします。

ご提言ありがとうございます。地域の周辺、沿線で生活される方もいらっしゃいますし、そういった方の足を守りながらということはあるんですけど、やはり観光路線としての位置づけというのも非常に重要かと考えております。

沿線の魅力の磨き上げ、それから鉄道の旅の魅力を伝えるということも非常に重要なポイントかというふうに考えております。そういった点も含めまして、事業者とも連携しながら取り組んでまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

和泉議員。

○8番（和泉克彦君）

やはり糸魚川駅が、結節点として大変大きな役割があるかと思うんですけど、単に通過点、アクセス路線として糸魚川駅で乗り換えているという現状は、糸魚川市民の一人としては、あるいは鉄道ファンとしても、ちょっと嘆かわしいかなと。やはり糸魚川市民としては、糸魚川に降り立ってもらって、糸魚川でいろいろ食べてもらったり、泊まってもらったりということを考えるんですけど、そういう点についてどのようにお考えなのか、伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

山崎商工観光課長。〔商工観光課長 山崎和俊君登壇〕

○商工観光課長（山崎和俊君）

糸魚川駅につきましては、3つの路線が乗り入れる、ある意味ターミナル駅と言ってもいいかと思っております。路線を乗り換える場合に、一旦改札の外に出るという点は非常に有利であるというふうに捉えております。

先ほどのC12SLパークではございませんが、観光客が乗り換える時間に合わせて、目的地へと誘導する工夫が必要であると考えております。また、当市ならではの観光資源を最大限に活用しまして、最終的には経由地、議員ご指摘の単なる乗換え地点ではなく、目的地として多くの方に訪れていただいて、より長い時間とどまっていただいて、お金をたくさん使っていただけるように取組を進めてまいります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

和泉議員。

○8番（和泉克彦君）

やはり糸魚川駅の結節点たる理由というか、そこをやっぱり最大限に生かすべきだとは思います。糸魚川駅の敷地内というのは、中にはジオパル、ジオステーションがありますし、結構この間も新潟市から来た人が、糸魚川駅の中にこんないいところがあるんだねなんて、小さな子供も遊ばせられるなんて、そういう何か楽しかったというような声を聞いたりします。やはり糸魚川駅周辺にもそういうような、いろんな観光客の方々を引きつけるような魅力ってたくさんあると思いますので、それをどんどん、どんどん発信していただければというふうに思います。

先ほどの、ゆっくり行こうぜ大糸線という、そういう視点になると、やはり運行ダイヤを大幅にいじらなければいけなくなるので、どうしてもJR西日本さんとか東日本さんとの協議が必要になってきて、そう簡単にはいかないと思うんですけど、引き続き連携を取りながらお願いしたいと思っています。

ただ、JRさんは、やはり常にお題目のように大量輸送というふうにおっしゃるんですよね。大都市部、例えば首都圏、関西圏であれば、大量輸送は可能なんですけど、これまでも、それ以前から、地方路線というのは、そういう収益を上げるような路線ではなかったはずなんですよ。これをコロナが蔓延してしまったがために、そのコロナのために利用者数が減った理由づけとして、地方路線に乗ってないというような、何か論理のすり替えをされてるような気がしてならないんですよ。その部分も、やはり感情論になってしまうので、大量輸送を取っ払ってということはストレートには言えないというか、今言ってますけど、その部分をやっぱり地方路線の役割というのをやはり考えていただきたい。大量輸送であれば、新幹線でオーケーなんですよ。だけど地方路線はそういうわけにはいかない。それが、在来平行線たるゆえんでもあるわけですから、そういうようなところを、行政としてはつらいかと思いますが、いま一度お考えいただいて、関係各所に働きかけていただきたいというふうに思います。

最後にですが、先ほども申しましたが、ダイヤ改正で、南小谷までの特急あずさ号が、白馬までになってしまいました。ということは、糸魚川から東京、関東圏とか中京圏に向かうためには、かなりの所要時間を要することになったわけですよ。ですから、中村村長がおっしゃるのも無理もないことで、やはり、いま一度、南小谷へという、1本でもいいですからそういう乗客、利用者の数を増やすための方策というか、切実な思いだと思うんですよね。ですから糸魚川もそういう形

で連携は取ってますけど、やはり糸魚川の事情をしっかりと共有していただいて、大糸線を盛り上げていただきたいと思います。そして、先ほども質問の中でもありましたけど、市民の方に盛り上げてもらうということ、国への国策としての路線だということを働きかけてください。

以上で終わります。

○議長（古畑浩一君）

和泉議員の質問が終了いたしました。

ここで、１４時１０分まで休憩いたします。

〈午後２時０１分 休憩〉

〈午後２時１０分 開議〉

○議長（古畑浩一君）

休憩を解き、会議を再開いたします。

引き続き、一般質問を行います。

次に、利根川 正議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

利根川議員。〔６番 利根川 正君登壇〕

○６番（利根川 正君）

利根川 正です。１回目の質問をお願いします。

１、久保田市長の重点政策について。

５つの重点政策と縮充について、お伺いします。

(1) 久保田市長の基本理念には、市民の声で新しい糸魚川をつくる。その重点政策として、第一に医療、福祉を上げられています。

糸魚川市の医療体制を守り、糸魚川総合病院や地域医療施設の維持強化を固くする、新潟県の広域医療方針に符合しながら、安心できる医療を確保するとありますが、以下の点について伺います。

① 糸魚川市の医療体制をどのように考えているか。

② J A新潟厚生連糸魚川総合病院について、どのように考えているか。

③ 県の地域医療構想は、医師も施設も拠点化するとしているが、糸魚川市において、救急医療体制をどのように考えているか。

④ 福祉において、施設の維持と介護福祉士の減少をどのように考えているか伺います。

(2) 重点政策の第二に上げている教育で、子供たちが学びやすい環境を整え、学校再編や部活動の地域展開を推進し、少子化を見据えた効率的で質の高い教育体制を構築するとありますが、以下伺います。

① 学校再編で小学校をどのように考えているか。

② 保育園の民営化について、考えを伺います。